

次回講座の案内

●お話を楽しむ講座

第3回 「語りとおはなし会で楽しむ

わらべうたと手遊び

・日時 10月2日(水)10時～12時

・会場 熊本市青年会館 研修室

「おはなし・絵本」の世界へ誘う（全4回）
（第3回）
千じゅんと兵に「わらべうた」をたのしみ

・講師 廣渡しづのさん
・日時 11月24日(日) 14時～16時

・会場 くまもと県民交流館 パレア

●物語を楽しむ講座

第3回 「マザー・グース第3弾

ローラが口ずさんだマザー・グース

・課題本 『大草原の小さな家』(福音館書店)

・日時 11月27日(水)10時～12時

・会場 熊本市立図書館 集会室

会場を「確認の上、

お出かけください。

～皆様のご参加をお待ちしています～



本はともだち！



最近読んでいる本のほとんどは図書館で借りているのですが、新刊本はオフィスの近くの丸善（丸の内店）を月1、2回の頻度で見て回り、チェックしています。なかでもSF棚は必ず見にいくところで、春頃見つけて気になっていたのが、『不見（みず）の月 博物館惑星II』（菅浩江著）です。2000年に出版され、結構楽しく読ませてもらつた『永遠の森 博物館惑星』の続編となる連作

短編集で、先日やつと図書館から借りることができました。小惑星を地球の衛星軌道上に持ってきて作られた人類史上最大の博物館を舞台として、脳に直接接続されたAIと思考するだけでコミュニケーションをとりあうことができる学芸員たちが主人公という、いかにもSF的な設定なのですが、語られるのは、組織内の軋轢や人々の想いのすれ違いなどで複雑になつた案件の対応という、彼らの日常業務です。『永遠の森』の主人公（兵藤）の相談役として登場してくれています。

兵藤が同僚である尚美と、悪口を言い合いながらも様々な事件への対応の中でも心を通していく姿には、人の善みの変わらなさを感じさせてくれます。続きを読むがいつ出版されるか楽しみです。

9月21日、母（幸子）と一緒に県立劇場で開催の狂言の会（野村万作・萬斎出演）を観きました。昨年11月号の「本はともだち！」で紹介した稲葉俊郎氏（能を習っている由）と野村萬斎氏との能の身体性（声の出し方等）に関する対談、興味深かったです。

（横田 真）



■編集＝金子・田原・堀 《イラスト》 安田晶子

特定非営利活動法人
熊本子どもの本の研究会 発行

〒861-8029

熊本市東区 西原二丁目一五の一四

T／F 096-382-5090